



広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター主催

厚生労働省補助事業

第5回

2022年度 前期 リカレント研修会

「歯科衛生士が取り組むべき 口腔機能低下症への対応」

LIVE配信：2022年8月18日(木) 19:30～21:00

オンデマンド配信（録画視聴）：2022年8月22日(月)～2022年8月31日(水)



広島大学大学院医系科学研究科
先端歯科補綴学
准教授 吉川 峰加 先生

講演内容

- 口腔機能低下症から要介護になるまでの道のり
- 口腔機能低下症の兆候を発見する目を養おう
- 臨床現場で実践可能な口腔機能低下症の検査について
- 口腔機能低下症がわかった後の歯科衛生士の対応は？
- 患者さんに口腔機能低下症へ関心を持ってもらうには？

講演の要約

口腔機能低下症の評価をした際、約5割の方に口腔機能低下症があると言われます。長期にわたってお付き合いしてきた患者様が、口腔清掃状態や義歯の状態自体は良好であるにも関わらず、体重が減少していたり、うがいの時にむせていたり、摂取している食品が柔らかいものに変化してきていることなどを、患者さんの様子やお話から伺うことができます。口の専門家として、口腔機能低下症というものが存在すること、誰でもその状態になりうる可能性があることなどを話のきっかけとし、信頼関係を築いてきた患者さんと歯科衛生士さんの関係だからこそなし得る、「早期発見・早期対応」が可能です。

口腔機能低下症への実際的な取り組みを考えていきましょう。